

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 1 月 31 日作成)

小委員会名	テンション構造小委員会	主 査 名：岡田 章 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 シェル・空間構造運営委員会	委員長名：中島正愛 主 査 名：小河利行
設 置 期 間	2008 年 4 月～2012 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	ケーブル構造の現行ディテール設計手法に関して調査と分析・評価を行う。 (1) 既往の接合部の設計手法の整理 (2) 上記、分析・評価軸の作成と検討対象建物の絞り込み (3) ディテールの設計手法や設計クライテリアなどに関する分析・評価 ディテールの設計手法の整理と問題点の分析	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無： 無	
	主査：岡田 章(日本大学) 幹事：宮里直也(日本大学) 委員：形山忠輝(日本鑄造)，斎藤公男(日本大学)，斉藤嘉仁(太陽工業)，杉内章浩(竹中工務店)，田畑博章(大林組)，陳沛山(八戸工業大学)，中島肇(清水建設)，浜崎勇二(神鋼鋼線工業)，原田公明(日建設計)，樋口聡(鹿島建設)，廣瀬一正(川口金属工業)，中川路勇(大成建設)，矢島卓(東京製綱)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2011 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 議論・分析により既往の接合部設計手法について問題点を整理できた。 2. ディテールの設計手法、クライテリアに関して分析作業を継続中である。 3. ケーブル指針の改訂について計画し、年度途中から議論をはじめている。
委員会活動の問題点・課題	1. 前年度比べて出席率が向上し委員会活動が活性化したものの、全員出席の機会が作れない。